

現在の活動をするようになりました。
市民活動支援センターでは、まち寺
小屋や市長とのゆんたく会をしたり、
糸満市は第5次総合計画が始まるの
で、そこに向けてワークショットアップを
したり、街づくり委員にさせても
らっています。今は、若い人たちと
活動しながら将来の街をどのように考
えていこうかと少しづつ検討してい
る段階です。

市の課題や現状など

私はずっと糸満市で生活しているのですが、全国植樹祭など、全国規模の大会などに手伝いとして携われたことも貴重な経験となっています。

糸満市のことまでを
写真でプレイバック



▲1987年(昭和62年)10月26日
海邦国体、成年男子の軟式野球
競技開会式の様子



▲1978年(昭和53年)7月に撮影された糸瀬口一タリー

市長 糸満市は、昨年、全国の魅力度ランキングで伸び率が全国一位になつたりと、注目されていると思います。名城には新しくホテルもできますし、空港からの立地条件もよく、糸満市はいろいろな可能性を秘めています。そういった意味でも、より住みやすい街にするためには、コミュニケーションニティからすべての人たちが市に関わっていけるような環境をつくつていかないといけないのかなと感じます。

ネットの普及でいろいろな人とつながりやすい時代にはなりましたが、隣の人と手をつないだ時の暖かさを感じることはネットでは難しい。人と人が直接かかわって初めてコミュニケーションティというものができると思つています。子供たちも含めて、若い世代さらに働く世代がお年寄りを支え、そしてお年寄りの皆さんも孫を

50周年式典に向けて

福元 市の中では実行委員会を設置して先日、第1回の会議を実施したところです。市制施行50周年ですで、記念式典や祝賀会は検討していますが、コロナ禍の中なので、状況をみながら市民の皆さまの安全安心、健康を守ることを優先に判断していくことになります。ただ、これまでの50周年そしてこれから50周年の節目になるような年になりますので、市民参加型を念頭に置いた事業を創意工夫してやっていけたらと考えています。市民の皆さんもぜひご意見いただけたらと思っています。

な学生会というのがあつたんですよ。
そこからもやはり、それぞれの年齢
にあつたステージで地域に貢献する
ことが地域コミュニティづくりの一
番大きい柱・力になると思います。
地域の組織団体が活性化していると
ころは、地域が活き活きしています

金城 私も各種団体や地域との関わり、みんなで支える地域づくりが今後の鍵だと感じています。サタデークッキングで児童館に2年いましたので、そういうた場所で老人会とも三世代交流するような活動も面白いと 思います。

福元 私は、市役所に採用されてからそれぞれの場所で印象深いところがあるのですが、最初の業務は市民課に配属され、戦争で消失したり滅失したりした戸籍を再生するという仕事から始まりました。

私たちの年代というのは、今ほど平和教育を受けてきた年代ではない。もちろん慰霊の日の黙とうなどはありましたが、当時の大人たち、おじいやおばーは戦争について語れない時期に小さいころを過ごしたと感じています。

戦争で戸籍が滅失したまま家族全員が亡くなり、そのままになつて戸籍など、恥ずかしながら仕事を通して戦争の影響を知ったことが少しショックでした。

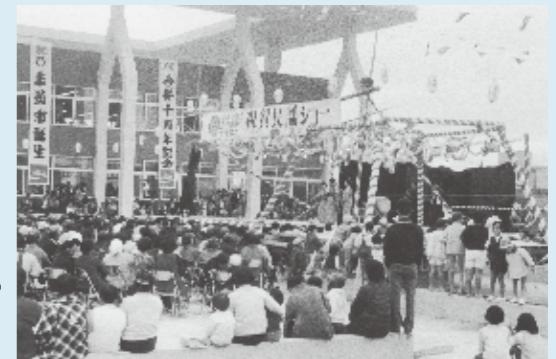
徳元 地域コミュニティもそうですが、老人クラブや市内にある各種団体の組織的繋がりが年々低下しているので、そのことが糸満市事態の疲弊につながっていくのではないかと懸念しています。

市長 青年会が少なくなっている理由として考えられるのは、家で過ごせるような娯楽などが増えて、若い人の生活スタイルが多様化していることだと思います。私が青年時代は青年会がないところも立ち上げたりしましたが、今では地域の伝統行事があるところでも会員が減少しています。

現状など

私はずっと糸満市で生活しているのですが、全国植樹祭など、全国規模の大会などに手伝いとして携われたことも貴重な経験となっています。

4



12月1日の市制施行祝賀 民謡シヨーの様子

トン会場となる西崎総合体育館や西崎球場、近代的な機能を備えた西崎陸上競技場が相次いで完成。西崎球場の黒土は甲子園と同じ黒土で、当時の野球少年達の憧れだったようです。